



あなたの、手となり、
ぬくもりとなり。

その手は、あなたの手だ。

そのまなざしは、あなたのまなざしだ。

そのぬくもりは、あなたのぬくもりだ。

支援してくださるあなたの、手となり、目となり、ぬくもりとなり、

私たちは、そこに行く。

医師が、看護師が、ボランティアが、そこで活動する。

私たちは、あなたの支援で動いている。

そう。支援してくださる、あなたも赤十字の仲間です。

救いを託されている。

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

広島県支部

救うを託されている。



千曲川の氾濫で1階が水没した高齢者医療介護施設における救護活動【長野県】

令和元年台風第19号災害

令和元年10月12日、日本に上陸した台風第19号による大雨の影響で、関東甲信・東北地方で河川の越水や堤防の決壊が発生し、浸水被害が相次ぐなど、多くの地域に甚大な被害をもたらしました。

日本赤十字社は、この災害に対して被災都県支部を中心に、直ちに、被災された方々へ医療救護班・「こころのケア」班を派遣、また避難所への救援物資の配布を行うなど、災害救護活動を実施しました。



食事の配布、清掃など避難所の生活をサポートする赤十字奉仕団【長野県】



支部備蓄倉庫から救援物資の配布【宮城県】



避難所で医療救護班の診察【福島県】

派遣した医療救護班（日本DMAT含む）



95班

派遣した災害医療コーディネートチーム



48班

派遣したこころのケア班



36班

配布した毛布



17,595枚

配布した安眠セット



2,664セット

配布した緊急セット



2,385セット

県内の活動報告

救護員の養成・救援物資の配布

災害時に速やかに的確な救護活動ができる救護員・災害対策本部要員を養成するため、職員や赤十字ボランティアを対象に各種研修会を実施しました。さらに関係機関との連携強化や対処能力向上のため、県内自治体が発行した総合防災訓練にも参加しました。

また、支部及び県内各市町にある地区・分区においては、平時より大規模災害を始め火災などの災害で被災された方々に配布するため、毛布や緊急セット等の救援物資を備蓄しています。



広島市総合防災訓練に参加



赤十字救護員を対象とした実践研修会の実施



災害時における救護活動情報の入力実習

主な
実績

○救護訓練・研修会への参加

県内他11ヶ所、職員・赤十字ボランティア延べ119名参加

○救援物資の配布

毛布104枚、緊急セット45セット、バスタオル111枚、寝衣97着

県内の活動報告

防災・減災の取り組み

これまでの災害経験をもとに、災害に強い地域づくりを目指して「防災・減災」の普及・啓発に取り組んでいます。

- [1] 県内の各地域や学校現場などにおける赤十字防災セミナーの実施
- [2] 青少年赤十字加盟校などへの防災教材の配布や貸し出し
- [3] 県内企業・団体と連携した「防災・減災プロジェクト～私たちは、忘れない。～」の実施



赤十字防災セミナー（災害図上訓練）



防災教材「いえまですごろく」



防災・減災プロジェクト

～私たちは、忘れない。～

「防災・減災」を地域社会に普及させていくため、東日本大震災が起きた3月を中心に、企業・団体、ボランティア等と一丸となって啓発活動に取り組むプロジェクト。

主な実績

赤十字防災セミナーの受講者数(実施回数)	576人(16回)
防災・減災プロジェクト参加法人・団体	27法人・団体

救急法などの講習普及

「いのち」を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術を一般の方に広く普及するため、「救急法」をはじめとした各種講習を町内会や学校等で実施しました。講習は資格を持った職員と赤十字のボランティア指導員により実施しており、支部ではこの指導員の養成も行っています。



心肺蘇生法を教えるボランティア指導員



日用品を使った応急手当



水上安全法の救助員養成

主な実績

[各講習受講者数(実施回数)]

救急法	19,540人(530回)	水上安全法	4,573人(85回)
健康生活支援講習	873人(36回)	幼児安全法	4,856人(183回)

青少年赤十字の普及、赤十字奉仕団の育成

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を学校教育の中で実践することを目的に、様々な活動を展開しています。支部では県内各校・園に対する青少年赤十字への加盟勧奨による普及活動、また研修会等を開催し、青少年赤十字のメンバーや指導者に対する育成にも取り組みました。

災害時の炊き出しや救援物資の搬出などのボランティア活動を行う赤十字奉仕団に対しては、各奉仕団の連携強化や活動充実を図るため、協議会や研修会等を実施しました。



高校生を対象にした青少年赤十字トレーニング・センターでの防災教育



仮設住宅(坂町)の住民を対象に炊き出し(健康・栄養赤十字奉仕団、青年赤十字奉仕団)

[県内の状況]

奉仕団(団数・団員数)

.....35団 12,073人

青少年赤十字(加盟校・メンバー数)

...307校・園 91,966人

苦しむ人びとを、救い続ける。



日本赤十字社
広島県支部長
湯崎 英彦

平素から赤十字活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

去年は、新天皇の即位により「平成」から「令和」へと元号が変わり、新たな時代の幕開けとなった年でありました。そうした中、日本赤十字社におきましては、創立150周年に向けて、災害に強い地域づくりなどの10年後に目指す姿やそれを実現するための長期戦略、行動指針等を示した「日本赤十字社長期ビジョン」を昨年、策定いたしました。

近年、国内外で地震や台風などの自然災害が頻発しており、特に昨年の台風第15号・第19号は、関東地方をはじめとした広い地域で、河川の氾濫や堤防の決壊、家屋の倒壊などの甚大な被害に見舞われ、日本赤十字社は、被災した都県支部を中心に医療救護班の派遣や救援物資の配布を実施し、総力を挙げて災害救護活動に尽力しました。

当支部は、このような災害などに備え、平時から救護員の養成、救護資器材・救援物資の整備、防災・減災セミナーの開催に取り組んでいるほか、ボランティア・青少年赤十字の育成、赤十字救急法などの講習普及を県内各地で展開し、地域に根差した活動を実施しております。

本年度も、日本赤十字社の「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命を果たすべく、積極的に事業を展開して参りますので、一層のご支援と活動資金へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

もしもの災害の備えて 非常時の持ち出し品

✓ チェックリスト

貴重品

- ☐ 現金（公衆電話用の小銭を含む）
- ☐ 健康保険証
- ☐ 身分証明書（運転免許証、パスポートなど）
- ☐ 印鑑
- ☐ 銀行の口座番号、生命保険契約番号など
- ☐ 母子健康手帳
- ☐ マイナンバーカード
- ☐ 車や家のカギ

情報収集用品

- ☐ 携帯電話（充電器、非常用充電器含む）
- ☐ 携帯ラジオ（予備の電池含む）
- ☐ 家族の写真（はぐれた時の確認用）
- ☐ 緊急時の家族・親戚・知人の連絡先
- ☐ 広域避難地図（ポケット地図でも可）
- ☐ 筆記用具
- ☐ 家族との災害時の取り決めメモ

便利品など

- ☐ 防災ずきん、またはヘルメット
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 笛やブザー（音を出して居場所を知らせるもの）
- ☐ 万能ナイフ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ マスク
- ☐ ビニール袋
- ☐ アルミ製保温シート
- ☐ 毛布
- ☐ スリッパ
- ☐ 手袋
- ☐ マッチかライター
- ☐ 給水袋
- ☐ 雨具（レインコート、長靴など）
- ☐ レジャーシート
- ☐ 簡易トイレ

清潔・健康のためのもの

- ☐ 救急セット
- ☐ 常備薬・持病薬
- ☐ お薬手帳
- ☐ タオル
- ☐ トイレ用ペーパー
- ☐ 着替え（下着含む）
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 歯ブラシ

食料など

- ☐ 非常食（3日分）
- ☐ 飲料水（3日分）1人1日3リットル目安

その他

- ☐ 紙おむつ（幼児用・高齢者用など）
- ☐ 生理用品
- ☐ 粉ミルク・哺乳瓶など（赤ちゃんに必要なもの）
- ☐ 予備の眼鏡、コンタクトレンズ
- ☐ その他自分の生活に欠かせないもの

 **日本赤十字社** 広島県支部
Japanese Red Cross Society

〒730-0052 広島市中区千田町2-5-64 [担当課] 組織振興課
TEL 082-545-5011(直通)
TEL 082-241-8811(代表)
ホームページアドレス <https://www.hiroshima.jrc.or.jp/>

日赤 広島県支部

検索



スマホ・携帯は
こちらから



ハートちゃん